

## センターからのお願い

### 依頼会員さんへ

#### ◆活動日時が決まったらセンターへ連絡を！

センターが把握していない活動は、補償保険の対象外となりますのでご注意ください。  
定期的に依頼されている方は、月末に翌月分の予定を、不定期で依頼されている方は、その都度センターへご連絡ください。  
連絡は、電話、FAX、メールでお願いします。

#### ◆依頼される前にはまず、ご家族で相談を。

援助会員さんをご紹介する間際になってから、依頼が変更・キャンセルになるケースが増えています。依頼される時は、まずご家族でファミサポを利用するかどうか、話し合ってみましょう。

#### ◆ファミリー・サポート・センターは、市民同士で地域のつながりを作り、お互いが支え合っている活動です。

事前打合せの後、しばらく活動が無い場合は、援助会員さんに近況をお知らせするなど、コミュニケーションを大切にしましょう。

## 災害・警報発令時について

台風・暴風雨などの警報が発令された場合、変更ができるのであれば、会員双方で相談のうえ、活動のキャンセル、活動時間の変更等を行ってください。

補償保険の対象外となる場合もありますので、警報発令中など災害発生危険度が高まっている時間をさける工夫をお願いします。

警報は出ていないけれど、援助会員さんが「援助することは難しいかも…」と思ったら、活動を断ることができます。

☆ご自身とお子さんの安全を最優先に考えて行動しましょう

☆活動中は連絡が取り合えるようにしておきましょう



## 新・アドバイザー紹介

よろしくお願いします



阪口 尚美

講習会や交流会で会員さん同士が子育てのお話をされていると、お互いで支え合う地域でのつながりを実感し、とても温かい気持ちになります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(2022.4月～)



田中 宏子

毎月、「活動報告書」を読ませていただき、援助会員さんの子どもたちを見守る温かいまなざしや奮闘ぶり、依頼会員さんの地域の方々に信頼する姿を拝見し、さわやかなエネルギーをいただいています。どうぞよろしくお願いいたします。(2023.4月～)

## 会員数

依頼会員 2008人  
援助会員 348人  
西方会員 102人  
合計 2,458人

(令和5年9月末日)

## 令和4年度活動件数 1,479件 (2022年4月～2023年3月)

### 活動内容トップ5

1. 保育所・幼稚園終了後の迎えと預かり	287件
2. 子どもの習い事への送迎	192件
3. 保育所・幼稚園の迎え	128件
4. 放課後児童クラブの迎えと預かり	117件
5. 保護者のリフレッシュ・習い事・家事等の預かり	92件

☆ご意見・ご質問・投稿などお待ちしております☆

とよなかファミリー・サポート・センター  
(受託: 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会)

住所: 〒560-0023 豊中市岡上の町2-1-15  
メール: toyonakafsc@toyonaka-shakyo.or.jp  
電話: 06-6841-9383 FAX: 06-6841-2388

★ファミサポ会員専用★

LINE 公式アカウント

にご登録ください!

LINEの登録はこちらから!



# とよなかファミリー・サポート・センター会報

第51号

令和5年(2023年)10月発行



いつも地域での子育て支援の輪を広げる活動にご協力をいただき、ありがとうございます。3年以上続いた新型コロナウイルス感染症も今年5月に5類に移行し、出かける機会も増えるなど、楽しい日常生活が徐々に戻ってきました。会員の皆様には、感染予防等に配慮しながら相互援助活動を進めていただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

今後とも、皆様が安心して活動いただけるよう、職員一同努めてまいります。

今年は厳しい残暑が続いたことから、「秋バテ」も心配されます。

心身のエネルギーが不足している時は無理をせず、体調に気をつけてお過ごしください。



## 援助・両方会員さん募集中

今年度に入り、活動件数は昨年の同じ時期と比べて約1.4倍に増加するなど活発になっています。活動の継続には、お子さんの成長を地域で共に見守り、喜びを分かち合う援助会員さんの力が必要です。子育て中だけ空いている時間なら援助できそうという方、朝や夕方・送迎だけならという方、お友達同士でセンターを通じて助け合いをしたいというペア会員も募集しています。お友達やお知り合いのご紹介もお待ちしております。

### ■ 援助・両方会員向け登録説明会の予定 ■

- ①10/19(木)、②11/2(木)13:30～
- ③12/21(木)、④1/28(日)、⑤2/15(木)10:00～

#### ★説明会会場

- ①③④⑤は豊中市すこやかプラザ
- ②は千里公民館コラボ



★必須講習(救命救急講習)受講後、活動開始となります。  
お電話でのお問い合わせ、ご予約お待ちしております。

## 活動の様子

～地域でつながるあたたかい信頼関係づくり～

提出いただいた活動報告書やお手紙は、大切に読ませていただいています。やさしいまなざしで見守ってくださり、ありがとうございます。

Kくん(7歳)が、丸首のTシャツの前後を反対に着ていて「どっちが分からん…」と言うので、タグのことを教えました。「これが左側に来るように着れば間違えないよ」と話すと、「え?このシャツも?Aさん(援助会員)のも?」と聞くので、私のタグも見せました。納得したようです。

子どもの「困った」を見逃さず、フォローしていただきました。

もうすぐ2歳の双子ちゃんたち。ご飯の時も「おかわり」が言えるようになり、スプーンもフォークもうまく使えるようになってきました。今日のハミガキは、2人共とっても上手に「あん」してくれました。

今朝のSくん(2歳)はこども園に行く時に、道端にうつる影や道路のコンクリートから生えている草花に興味津々。園に入る前から尻込みして泣いていたこともあったけれど、今日は泣かずに頑張れました!

双子等多胎児の依頼会員宅での預かり(依頼会員も在宅)の活動です。3歳までの多胎児がいる家庭には、申請により利用補助券が使用できます。

Aちゃん(3歳)とは久しぶりのお預かりなので覚えてくれているかな?と思っていましたが、笑顔で来てくれました。言葉が増えていてびっくりです。



## スキルアップ講座

### 心の発達とその問題 「発達障害のある子どもの思春期支援」

講師：梅花女子大学教授 伊丹昌一さん  
日時：2月10日(金)10:00~12:00  
場所：くらしかん 3階 イベントホール  
参加者：42名



多様性を認め、個人を尊重する考え方について、参加者の目線でお話をいただき、特性の理解と接し方、本人の気持ちを高めるポイントを学びました。大人の世界の入口へと辿り着く思春期の子どもたち。その笑顔のために、前向きな言葉を沢山いただきました。

【参加者の声】  
日々の子育てで怒るばかりでは無く、笑顔で関われる時間を増やしていけたらと思いました。以前に発達障害のある男の子のサポートをしました。楽しかった思い出がよみがえってきました。



## スキルアップ講座

### 小児看護の基礎知識 「ある小児科医の診察室から」

講師：元市立豊中病院小児科部長  
前豊中市保健所所長 松岡太郎さん  
日時：8月25日(金)10:00~12:00  
場所：くらしかん 3階 イベントホール  
参加者：21名



小児科医として、前市保健所所長としての豊富なエピソードを交えながらお話をいただき、日常の気になる症状への対処法や健康状態の観察における大切な視点を学ぶことができました。たくさん質問にも分かりやすい回答をいただき、2時間があっという間に過ぎました。

【参加者の声】  
スライドも見やすく、ユーモアたっぷりとても楽しく聞くことができました。細菌とウイルスの違いがよく分かりました。身近な病気に対する知識が得られてよかったです。正しい知識をもつことの大切さを改めて感じ、伝えていくことの大切さも学ばせて頂きました。

## スキルアップ講座

### 保育の心 「良質な生活と遊びを保護者とともに作り上げる」

講師：梅花女子大学教授 安家周一さん  
日時：2月27日(月)10:00~12:00  
場所：くらしかん 3階 イベントホール  
参加者：19名



今の時代を生き抜く子ども達に必要なことや環境づくり、支援者・保護者としての在り方などについて、具体的に分かりやすくお話をいただきました。参加者も多くの共感を得て、貴重な学びの場となりました。

【参加者の声】  
子どもに任せる、決定させる事の大切さ、親が信念を持つことの大切さを再認識させていただきました。甘えと甘やかしの違いが、すごくよく分かりました。今の自分と子どもにとって、とっても大切な言葉でした。目からウロコのお話が多く、実践しようと思うことばかりでした。

## 必須講座

### 安全と事故 「乳幼児のための予防救急」

講師：豊中市消防局職員  
日時：3月2日(木)10:00~12:00  
場所：豊中市すこやかプラザ 1階 多目的室  
参加者：18名  
日時：6月22日(木)  
10:00~12:00  
場所：くらしかん 3階 体験学習室  
参加者：17名



イラストを見ながらKYK(危険予知トレーニング)を行い、生活の中で起こり得る事故について再確認しました。実技では、赤ちゃん人形等を使った心肺蘇生や応急処置の方法、AEDの仕組み・使用方法について学びました。

【参加者の声】  
コロナ以前に講習を受けてから今回まで受けていなかったため、新たな学びになりました。忘れないように定期的に受講します。自身の子も、預かった子も、命を大事に、教わったことをしっかり復習しようと思います。



## 基礎講座 ①

### 身体の発育と病気 「子どもが快適に過ごすための必要なケアと環境づくり」

講師：豊中市おやこ保健課保健師 墨屋 愛さん



子どもの月齢に沿った発育の特徴や起こりやすい病気やケガについて、観察のポイントや注意すべき点について体験談や事例を交えて具体的にお話いただきました。

【参加者の声】  
保健師の先生のお話を聴かせて頂き、改めて子どもの病気、成長に気を配らなければと思いました。

日時：7月28日(金)10:00~12:00  
場所：くらしかん 3階 体験学習室  
参加者：8名  
テーマごとに二部制で実施しました。



## 基礎講座 ②

### 子どもの遊び 「子どもと一緒に楽しめる遊び」

講師：豊中市子育て支援センターほっぺ 地域支援保育士 平野雅子さん、西村麻希さん



てあそびやお絵描きあそびの紹介をいただき、身近なもの(牛乳パックや紙コップ等)を使ったおもちゃ作りをしました。作品を見せ合いながら会話が弾み、とてもアットホームな雰囲気の講習会となりました。

【参加者の声】  
工作がとても楽しかったです。子どもより私自身がハマりそうです。



## 援助・両方会員さん、必須講習の受講はお済みですか？

お問合せ・お申込みはセンターまで

★ 重要 ★

### 必須講習「安全と事故」を受講しましょう！

平成28年度より援助・両方会員さんは必須講習となり、たくさんの方々にご参加いただいております。安全に活動いただくため2年に1回の受講をお願いします。厚生労働省の通知により、少なくとも5年に1度の受講が必須になっています。**令和になってから受講していない方は、今年度中の受講をお願いします。**

受講は本センター主催の講習会、もしくは豊中市消防局主催の普通救命講習を受講(修了証の写を提出)してください。(消防局開催日時はHP掲載)

乳児の心肺蘇生法やAEDの使い方等、万一に備えての実習や事故防止のポイントなどを学び、子どもの身近な援助者として、備えておきましょう。

この他にも10月から秋の講習会が始まります。たくさんのご参加お待ちしております

